



ほけんだより

2月号



令和3年2月1日
ゆめわかば保育園

気温が低く、乾燥した日が続いています。

園庭の遊具はまわりも薄い氷が張っていて冷え込みを実感します。

こども達は頬を赤くしながら夢中で外遊びを楽しんでいます。

引き続き感染予防対策を行いながら強い体づくりにも取り組んでいきます。



こどもの皮膚のはなし

みずみずしく見えるこどもの肌ですが、大人よりも表面を覆っている皮膚がずっと薄いので乾燥しやすいです。また、皮脂も少ないのでバリア機能が低く、デリケートです。

入浴後は一気に乾燥が進むので、体が温かいうちに保湿することが大切です。

クリームなどを嫌がる場合は、保湿力のある入浴剤などを併用してもいいですね。

幼児期に肌のバリア機能が壊れてしまうと、成長してからも肌トラブルが続きやすくなります。親子で一緒に肌ケアの習慣ができるといいです。

外遊びの前・後
入浴後
クリームなどを塗る

冬の寒風に
地肌をさらさない

爪を短く、角が無いよう
整える

1月の感染症

胃腸炎 1名 突発性発疹 1名

新型コロナウイルス感染症の拡大状況に合わせて、新たに安全環境を整えました。

* 非接触検温サーモグラフィーカメラ
保護者の方もご利用ください。

* 空気清浄機
新型コロナウイルスよりも小さな微細粒子を除去できるTPAフィルター搭載しています。各クラスとランチルームに設置しました。

感染性 胃腸炎



感染性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスが原因の胃腸炎で、数時間前まで元気だったのに、突然顔色が変わり嘔吐が始まるケースが多く見られます。症状が出てから数時間が一番重く、水分を与えても吐いてしまいます。吐き気が治まるまで様子を見て、顔色が戻ってきたら経口補水液などを少量ずつ与えましょう。乳児の場合、母乳はそのままあげても構いません。下痢の症状は、数日前から出る場合もあれば、嘔吐が始まってから出る場合もあります。嘔吐物や便から感染するケースが多いので、早めの処理と消毒が、集団感染の予防につながります。

保育園では感染拡大防止のため、嘔吐や下痢で汚れた衣類や寝具は洗い流さずにそのままビニール袋に入れてお返しさせて頂いています。
ご理解・ご協力をお願い致します。

かぜの後の登園について

かぜや胃腸炎などは、症状がすっかり治まった後も、ウイルスの排出が数日間続きます。家庭のみで「治った」と判断するのは控え、かかりつけの医師の診断を受け、許可をもらってから登園しましょう。幼児が登園できるまでの期間の目安は症状によって様々です。感染症にかかった時などは、出席停止期間をきちんと守り、二次感染が起こらないようにしましょう。